

知的・発達障がい者の生涯学習を支援するユニバーサル農園 「夢育て農園ちとから」を、東京・世田谷に3月1日(日)オープン

～「18歳の壁」を越え、学びの継続と成長の喜びを、実践と検証で支える地域共生の場づくりへ～

NPO法人ユメソダテと株式会社夢育て(東京都世田谷区、代表:前川哲弥、以下ユメソダテ)は、2026年3月1日(日)、東京都世田谷区内に新しいユニバーサル農園「夢育て農園ちとから」をオープンいたします。

夢育て農園は、「成人した知的障がい者も、環境を整え、方法を工夫すれば生涯にわたり成長の喜びとともに生きることができる」ことを科学的に示した国内でも珍しい試みです。2022年10月に世田谷区桜丘で開園し3年間の実践を経て、このたび千歳烏山地域に移転のうえ開園いたします。今回の移転を通じて、従来の約230㎡から約360㎡へと約1.5倍に拡大し、受け入れ可能な障がい者や地域の方の数も増えます。



■ 誰にも開かれたインクルーシブ&ユニバーサルコミュニティ「夢育て農園ちとから」について

夢育て農園は、3年前に知的障がいのある方にフォーカスして世田谷区桜丘で始まりました。このたび千歳烏山地域へ移転し、「夢育て農園ちとから」として新たなスタートを切ります。「夢育て農園ちとから」は、「人を育てる」をテーマにしたユニバーサル農園です。ユニバーサル農園とは、年齢や障がいの有無、立場を問わず、誰もが関わり、学び合い、支え合えるように設計された「ひらかれた農園」のことです。オープン・デイや各種イベントには誰もが参加でき、障がいのある方もない方も一緒に種を蒔き、草を抜き、収穫しながら交流を楽しむことができます。今後も、ビジネスパーソンや高齢者、子どもなど、さまざまな人が参加できる学びの機会を広げていくとともに、多くの方が活動を通じて自己効力感を高め、同じ関心を持つ方々との出会いが生まれ、当事者の成長をともに喜び合えるような、地域に開かれた農園を目指します。

名称	夢育て農園ちとから
開園日	2026年3月1日(日)
所在地	東京都世田谷区上祖師谷2丁目(京王線「千歳烏山駅」から徒歩約14分)
運営主体	NPO法人ユメソダテ、株式会社夢育て
採択事業	東京都 生産緑地を活用した体験農園等普及事業採択事業
農園面積	約360㎡
受入目標	30～50人
活動内容	知的・発達障がいのある方の認知的成長プログラム(夢育て1.0)、地域住民参加型の農園活動、オープンデイ、など
公式URL	https://yume-sodate.com https://youtube.com/@yumesodate

■「18歳の壁」- 知的障がいのある成人に“学びの場”が少ない現実

知的障がいのある方は、特別支援学校を卒業すると、就労継続支援事業所や生活介護事業所などに通うケースが一般的です。そこでは「作業」や「生活支援」が中心となり、成人後も継続して学び、力を伸ばしていくための機会は限られがちです。こうした状況はしばしば「18歳の壁」と呼ばれています。背景には、「成人した知的障がい者はそれ以上成長しにくい」といった見方が、専門家を含む社会の中に長く存在してきたことがあります。一方で近年、脳は年齢を重ねても可塑性(変化し続ける性質)を持ち、適切な刺激や環境があれば学びや成長が促され得ることが示されています。夢育て農園は、こうした科学的知見も踏まえながら、知的障がいのある成人が生涯にわたり学び、成長を実感できる環境づくりに取り組んでいます。

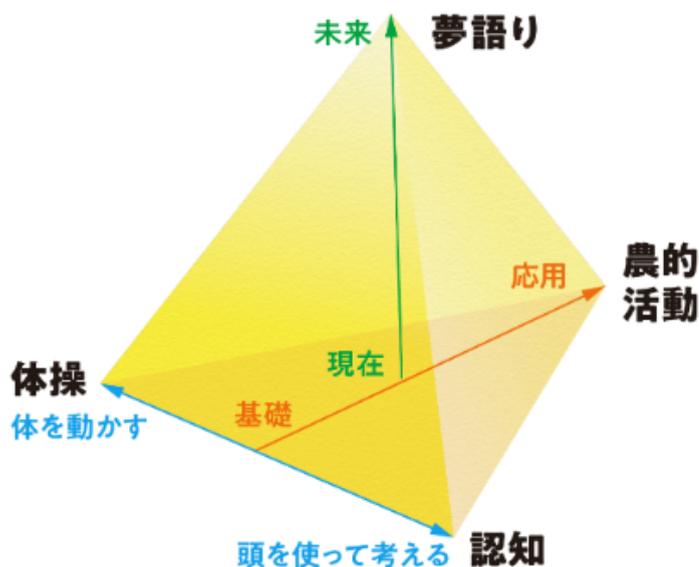
加えて、2026年7月には法定障害者雇用率が現行の2.5%から2.7%へ引き上げられ、企業に求められる障がい者雇用の規模はさらに拡大します。雇用の量的拡大に加え、職場への定着や活躍に向けた育成のあり方にも関心が高まるなか、成人後の学びと成長を支える取り組みへの注目は一層高まっています。

■ ユメソダテの取り組みとこれまでの実績

こうした「18歳の壁」を踏まえ、ユメソダテは、知的障がい者の生涯学習支援を軸に、ユニバーサル農園の運営や企業向け研修プログラムの提供を行っています。成人後も学びを継続できる環境を現場で設計し、実践と検証を重ねながら、学びの機会が限られがちな状況に対する具体的なアプローチとして活動を展開してきました。中心となるプログラム「夢育て1.0」は、体の使い方を学び直す体操、認知を育てる座学、本人の言葉で将来像や希望を語る「夢語り」、そして農作業の4要素を組み合わせる構成されています。取り組みによる変化は認知テスト等で把握し、学会で継続的に発表しており、これまでに査読論文1本、職業リハビリテーション学会での報告8本の実績があります。

夢育ての取り組みは、地域の方々の協力によって成り立っています。障がい者の学びに力を貸す人、学びの場＝農園運営に尽力する人、障がいを持ちながらより重い仲間を応援する人など、多様な関わりがあり、地域の一人ひとりが当事者の成長を心から喜ぶ姿が、場の力になっています。

これまでの取り組みは、農林水産省・厚生労働省・法務省・文部科学省4省主催のノウクアワード(チャレンジ賞)の受賞(2024年2月)や、「農福連携等推進ビジョン(改訂版)」への位置づけ(2024年6月、ユニバーサル農園の活用推進に関する記載)にもつながっています。さらに、活動から生まれたプロダクト「ニコニコイン」はグッドデザイン賞2023を受賞し、2024年10月には共感する福祉事業所や農家等と連携する「夢育てアライアンス」を立ち上げました。昨秋には株式会社ファミリーマートが本アライアンスに参加し、同社における障がいのある職員の成長や職域拡大に向けた取り組みを進めています。



■ 今後の展望

ユメソダテは、「夢育て農園ちとから」を起点に、地域とともに支える担い手を広げながら、農園を誰もが学び合える開かれた場へと育てていきます。その取り組みを基盤に、夢育てアライアンスを200団体規模へ拡大し、50社の企業と提携することで、年間100人を受け入れられる体制の構築を目指します。

さらに、知的障がいのある方にとどまらず、発達・精神に障がいのある方、高齢者や子ども、ビジネスパーソンへと対象を広げた「認知の学校」へと発展させていきます。その実現に向け、1,000人規模の指導人材を育成し、地域に根差した持続可能な学びのモデルを広げてまいります。

■ 農林水産省 大臣官房秘書課調査官(前 農村振興局 農福連携推進室長)渡辺桃代様 コメント

「夢育て農園ちとから」の開園に心よりお祝い申し上げます。農作業を通じて、土に触れ作物を育てる体験や、仲間とともに協働する時間は、成長の喜びを生み出し、社会との結びつきを深めるものと考えています。このことを、「夢育て農園」は、様々な実践と検証を通じて、社会に提案し、共感の輪を広げてこられました。2024年に首相官邸の会議で取りまとめられた「農福連携等推進ビジョン(改訂版)」においては、「障害者の生涯にわたる学びの場として、ユニバーサル農園における農業体験等の活用を推進する。」とされています。「夢育て農園」が、これからも一人ひとりの可能性を大切に育み、学びと成長の喜びに満ちた温かな居場所として、地域に希望の種をまき続けられますことを祈念しております。

■ NPO法人 ユメソダテ 代表 前川哲弥 コメント



『成人するとそれ以上成長しない』と言われてきた知的障がい者も、環境を整え、やり方を工夫すれば、生涯にわたり成長の喜びとともに生きることができる。私たちは、そのことを実践と検証の両面から積み重ねてきました。私たちの現場では、人が育ち、関係が育ち、場そのものが育っていきます。『夢育て農園ちとから』は、そうした成長の循環を地域に開いていく拠点です。知的障がいのある方に限らず、多様な方々に参加いただき、真にユニバーサルな農園として育てていけたらと思います。」

■ 団体概要

NPO法人ユメソダテと株式会社夢育ては、「成長の喜びと夢のある人生をすべての人に」を理念に、知的・発達障がい者の生涯学習支援を軸とした活動を行う団体です。ユニバーサル農園の運営、企業向け研修プログラムの提供などを通じて、成人後も学びと成長を継続できる環境づくりに取り組んでいます。私たちのプログラム「夢育て1.0」は、体操(姿勢・呼吸・身体操作)、座学(数・言葉・図形などの認知課題)、対話(夢語り)、農作業の4要素で構成。変化の把握には認知テスト等を用い、学会での発表を重ねるなど、実践と検証の両面から展開してきました。知的障がい者に限らず、発達・精神に障がいのある方、高齢者、子ども、ビジネスパーソンなど、多様な人が関わりながら学び合う環境を広げ、「人が育ち、関係が育ち、場そのものが育つ」社会の実現に寄与することを目的に活動しています。

団体名:NPO法人ユメソダテ

設立年月:2018年9月

株式会社夢育て

設立年月:2020年5月

代表者:前川哲弥

本部住所:東京都世田谷区南烏山1-10-25-403

URL:<https://yume-sodate.com/> / <https://youtube.com/@vumesodate>

■ 本件に関する問い合わせ窓口

NPO法人ユメソダテ & 株式会社夢育て 前川哲弥

Tel: 080-5088-6271 Mail: maekawa@yume-sodate.com